

特 集

広島市原爆死没者慰霊式 並びに平和祈念式

令和6年8月6日に広島県で行われた「平和記念式典」へ、5名の代表児童生徒が派遣されました。

この派遣事業は、恒久平和への願い・平和教育の一環として、昭和63年の旧追分町時代から始まり、合併後も続いてきた事業です。

今年は町内の小中高生5名と引率職員2名が8月5日～7日の日程で、戦争や原爆の凄惨さを現地で学びました。

8月5日、広島県に到着した派遣団は、町内の児童生徒（学校、児童館）や町民の皆さんが「平和への祈り」を込めて織り込んだ千羽鶴を「原爆の子の像」へ奉納。

その後は「広島平和記念資料館」へ移動し、事前研修で決定した各々のテーマを中心に、原爆投下直後の様子などを資料で見学しました。

